

○水生生物モニタリング調査結果一覧（はやま湖G）

<はやま湖G 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
G-1	○	○	○	○	○	○
G-2	—	○	—	—	○	—
G-3	○	○	○	—	○	—
G-4	—	○	—	—	○	—
G-5	○	○	○	—	○	—

<はやま湖G 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)	
G-1 (表層)	37.7321°	140.8127°	H28. 8. 22	11:28	11:03	27.4	23.1	砂泥	7.5Y 2/2	植物片	4.0	2.0	
G-1 (下層)						23.4							
G-2	37.7267°	140.8223°		—	10:15	—	6.9	軟泥	7.5Y 3/1	植物片	—	—	
G-3 (表層)	37.7302°	140.8307°		09:15	09:25	28.0	22.0	礫混砂泥	7.5Y 2/2	植物片	7.0	2.0	
G-3 (下層)						23.2							
G-4	37.7382°	140.8035°		—	12:50	—	24.1	砂	7.5Y 4/3	植物片	—	—	
G-5 (表層)	37.7341°	140.8088°		11:35	11:45	27.7	24.0	砂泥	7.5Y 2/2	植物片	2.8	2.0	
G-5 (下層)						24.2							

<はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
G-1 (表層)	37.7321°	140.8127°	H28. 8. 22	11:28	7.4	1.1	4.3	9.0	6.8	0.04	2.1	3	2.8	0.0076	0.040	—
G-1 (下層)					7.4	<0.5	3.9	8.8	7.2	0.04	1.8	2	2.2	0.0086	0.041	0.00087
G-3 (表層)	37.7302°	140.8307°		09:15	7.5	0.6	4.3	8.7	6.7	0.04	2.0	2	2.1	0.011	0.055	—
G-3 (下層)					7.3	<0.5	5.0	7.9	8.3	0.05	2.6	3	2.9	0.011	0.055	—
G-5 (表層)	37.7341°	140.8088°		11:35	7.5	1.2	4.3	8.8	6.9	0.04	2.1	2	2.8	0.0081	0.047	—
G-5 (下層)					7.4	0.8	4.2	8.6	7.1	0.04	1.9	4	3.7	0.016	0.082	—

<はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
G-1	37.7321°	140.8127°	H28. 8. 22	11:03	7.1	315	51.9	10.3	17.3	2.722	0.0	0.0	24.5	44.7	18.3	12.5	0.16	2.0	570	3200	3.9
G-2	37.7267°	140.8223°		10:15	6.9	302	75.0	15.8	35.8	2.556	0.0	0.8	1.8	4.6	35.9	56.9	0.0030	2.0	4100	23000	—
G-3	37.7302°	140.8307°		09:25	7.1	179	51.3	8.3	21.0	2.696	6.0	7.9	12.8	13.4	35.1	24.8	0.036	19	640	3600	—
G-4	37.7382°	140.8035°		12:50	7.4	252	22.3	2.0	2.3	2.735	0.5	8.8	69.8	18.1	1.2	1.6	0.41	4.8	180	960	—
G-5	37.7341°	140.8088°		11:45	7.2	295	50.5	7.9	7.8	2.690	3.7	2.6	27.3	31.5	21.7	13.2	0.17	19	410	2300	—

<はやま湖G 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
G-1	湖内	37.7321°	140.8127°	H28.8.22	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.016	—	—	—	6.6	N.D. (1.9)	6.6	—
					藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0070	—	—	—	120	20	100	—
G-4	流入河川	37.7382°	140.8035°	H28.8.21	節足動物	昆虫	トンボ [*]	エゾ [*] トンボ [*]	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	78	0.018	幼虫 (ヤゴ)	—	—	2.10	0.30	1.8	—
					節足動物	昆虫	トンボ [*]	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ [*]	サエトンボ [*]	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ [*]	サエトンボ [*]	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ [*]	サエトンボ [*]	<i>Davidius sp.</i>	ダビドサナエ属									
					節足動物	昆虫	トンボ [*]	サエトンボ [*]	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ [*]	ヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	コシボソヤンマ									
					節足動物	昆虫	ヘビ [*] トンボ [*]	ヘビ [*] トンボ [*]	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	10	0.0049	幼虫	—	—	22	N.D. (9.5)	22	—
					節足動物	昆虫	ヘビ [*] トンボ [*]	ヘビ [*] トンボ [*]	<i>Parachauliodes japonicus</i>	ヤマトクロスジヘビトンボ	117	0.013	成体	—	—	64	11	53	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	16	0.0059	未成魚	—	—	15	N.D. (7.5)	15	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	4	0.025	未成魚	不明	内臓除去	68	10	58	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	3	0.020	未成魚	不明	内臓除去	40.8	5.8	35	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サシイッショ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	1	0.67	成魚	魚類	内臓除去	521	81	440	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius sp.</i>	ヨシノボリ属	47	0.015	未成魚/成魚	—	—	28.5	4.5	24	—
脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	キギ	<i>Pseudobagrus tokiensis</i>	ギバチ	12	0.011	未成魚	—	—	42.2	7.2	35	—					
					粗粒状有機物	—	—	—	—	—	0.16	—	—	—	285	45	240	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。